

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( マツナガ建設株式会社 )

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・採用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、運用している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に定め、朝礼・掲示板等で全社員に周知している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・『職場いきいきアドバンスカンパニー』に認証されている。 ・長時間労働抑制のため労働時間管理を行っている。 ・技術力の向上と新しい技術の導入により、労働生産性を高めている。							8.5 8.8										
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・多文化共生の重要性を、朝礼・掲示板等で全社員に共有している。			4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生委員会を設置している。 ・毎年6月に全社員(協会社含む)参加の安全大会を実施している。 ・社員から出されたヒアリハットを共有している。				3				8									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・ストレスチェックやメンター制度等を導入し、メンタルヘルス防止に向けた体制づくりに努めている。				3													
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材を積極採用し、適材適所へ配置している。 ・『社員の子育て応援宣言』に登録している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・社員にそれぞれの個性役割に応じた能力開発・継続学習の機会を与えている。 ・資格毎に定められた手当額を毎月の給与で支給している。			4	5.5				8	9								
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・法令に従い、対応している。 ・賃金の仕組みを社内に公開し、公平で透明性のある制度としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・『健康経営優良法人』に認証されている。 ・定期健康診断の受診項目を法令以上にしてある他、オプションや再検査の費用を会社負担としている。							3		8								
環境	11 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・作業場毎に廃棄物の処理計画を策定している。 ・廃棄物の種類・量など、現状を把握し、台帳を整備している。										11.6	12.4		14.1				
	12 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・算定ツールを活用し、自社の温室効果ガス排出量を把握している。							7.3					13					
	13 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・本社社屋を二重サッシにすることで、気密性を高め、温室効果ガスの排出量を抑制している。								7.2 7.3			12.4	13.3					
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制に努めている。				3.9		6.3					11.6	12.4					





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定